

STOROPACK グループ 企業概要

2026年2月から

本社

Storopack
Hans Reichenecker GmbH
Untere Rietstraße 30
72555 Metzingen
ドイツ

Tel. +49 (0)7123 / 164-0
Fax +49 (0)7123 / 164-119
E-Mail : info@storopack.com
www.storopack.com

創業

1959年

取締役会

Hermann Reichenecker 取締役会会長、パッキング事業部総括役員
Verena Reichenecker 最高経営責任者 (CEO)、モールディング事業部総括役員

各部

Stefan Kleemann 最高財務責任者 (CFO)、コーポレート統括部部長
Matthias Gut 最高情報責任者/最高デジタル責任者 (CIO/CDO)
Astrid Winkeler コーポレート・コミュニケーションおよびグローバル・
サポート・マーケティング部部長
Stefan von Hülse コーポレートEビジネスおよびCRM担当
Regine Asser 人事部部長
Michael Fröhlich コーポレートSAPアプリケーション責任者
Kaja-Maria Pfeiffer-Heuser 調達部部長
Oliver Donth コーポレート・サービスおよびロジスティックス部部長
Charles Poisson コーポレート・サステナビリティ部門長

従業員数 (2024年)

2,400人 (全世界)

売上高 (2024年)

573百万ユーロ

持続可能性目標

ストロパックの2025年の目標は、弊社製品の原材料に、リサイクル素材または再生可能な素材を少なくとも50%使用することです。2024年には、自社製品の49%を、再生可能な素材またはリサイクル素材から作ることに成功しました。

拠点

以下の国々に73拠点
オーストラリア、ベルギー、ブラジル、中国、ドイツ、フランス、イギリス、香港、インド、イタリア、
日本、カナダ、スウェーデン、スイス、スペイン、チェコ、トルコ、米国、オランダ、ベトナム



STOROPACK は、保護梱包およびテクニカル・モールディングのスペシャリストです。

製品ラインナップは、オーダーメイドかつフレキシブルな保護梱包およびその顧客側梱包プロセスへの統合、さらにテクニカル・モールディングをカバーしています。

メッツィンゲン（ドイツ）拠点を本社として世界中で活動する本企業グループは、次の2つの事業部門で組織されています：

モールディング事業部

モールディング事業部は、自動車、薬品、食品の各産業用に発泡材製のオーダーメイドの保護梱包、温度調節対応梱包、そしてテクニカル・モールディングを供給するスペシャリストです。

材質は、断熱、衝撃吸収、長寿命、軽量という面から、とても魅力的です。テクノロジーセンターでは、CAD開発、CNCプロトタイプ作成、工具構築、落下試験装置、および人工気象室という、最新技術を駆使してモールディングを製造しています。

ヨーロッパおよび中国のモールディング部門の製造拠点は、その地域の認証を受けています。

パッキング事業部

パッキング事業部は、エアパッド (AIRplus®)、ペーパーパッド (PAPERplus®)、PU発泡材梱包システム (FOAMplus®)、そして流し込み対応パッド材 (PELASPAN®およびPELASPAN® BIO) といった、様々な梱包製品を提供しています。

ニーズに合った設備を提供することで、個別梱包スペースのためのソリューションから、梱包ライン全体の設計や運用までをカバーしています。そのラインは、社内物流管理に統合されたもの、そして手動または半/完全自動梱包システムを提供するものです。Storopack専門応用エンジニアは、全プロセスの最高の効率および人間工学 (Working Comfort®) に配慮し、顧客サイドに立って保護梱包プロセスを改善します。

パッキング事業部門は、ヨーロッパ、北米、南米、アジア、そしてオーストラリアに拠点があります。その製品は、業者を通じて世界60ヶ国以上で販売されています。

マイルストーン

- 1874年 ヨハネス・ライヒェンエッカーによりシュヴァーベン地方バックナングの地で製革工場として創業
- 1920年 ヨハネス・ライヒェンエッカーの息子ヘルマンが製革工場を継承し、工場は「ヘルマン・ライヒェンエッカー皮革工場」と改称。
- 1938年 バックナングの皮革工場をヴァインシュタット-ポイトルスバッハに移転。
- 1956年 ハンス・ライヒェンエッカーが「ヘルマン・ライヒェンエッカー皮革工場」を父ヘルマン・ライヒェンエッカーから継承。
- 1959年 Storopack Hans Reichenecker GmbH + Co. (Storopackハンス・ライヒェンエッカー社) をハイルブロン近郊のアファルトラッハに創設。当初はStyropor® 製成形品の生産に特化。
- 1973年 流し込み可能なStyropor®製梱包パッド（ルース・フィル）の生産を開始。
- 1978年 米国での事業展開を開始。
- 1982年 ヘルマン・ライヒェンエッカー製革工場とStoropack Hans Reichenecker GmbH + Co.を併合。製革業は終了。
- 1987年 再生可能原料 (Renature®) 製梱包チップを製品ラインナップに追加。
- 1993年 初めてとなるEPP (発泡ポリプロピレン) 製モールディングを生産。
- 1995年 PAPERplus® (ペーパーパッド) の生産ラインがスタート。
- 1998年 AIRplus® (エアパッド) の生産ラインがスタート。
- 2000年 中国での梱包用成形品の生産を開始。
- 2001年 Storopackをコーポレート・ブランド化。
- 2002年 ハンス・ライヒェンエッカーが息子ヘルマン・ライヒェンエッカーに企業経営の実権を譲り、新設の監査役会会長に就任。
- 2004年 フェレーナ・ライヒェンエッカーが業務執行者に選任され、兄弟のヘルマン・ライヒェンエッカーとともに企業を経営。
- 2005年 梱包システムと梱包材ディストリビューションの両部門を梱包材部門に統合。Storopackのビジョンとガイドラインを作成。
- 2006年 FOAMplus® (フォームパッド) の生産ラインがスタート。
- 2008年 PELASPAN® BIO (梱包チップ) およびAIRplus® BIO (エアパッド) を導入。再生可能原料からの製品でラインナップが充実。
- 2009年 Working Comfort® の名で梱包事業者顧客の作業現場の人間工学への配慮を提唱。
- 2012年 Storopackがブラジルでの事業展開を開始。
- 2013年 Storopackがインドに新立地設立。
- 2015年 Storopackが日本企業であるEJ Co., Ltd. (神奈川県海老名市) を取得。
- 2015年 Storopackがイタリアの取扱いパートナー Alternative 1999 s. r. l.の株式を取得
- 2015年 TCPplus® (温度調節対応梱包) の生産ラインがスタート。
- 2016年 Storopackがオーストラリアにおける長年の販売パートナーを取得。
- 2019年 AIRplus®リサイクル製品 (リサイクル材料を少なくとも50%使用したエアパッドフィルム) を発売。
- 2019年 最大100%までリサイクルしたEPSとPSから製造したEPS保護梱包を開発。
- 2020年 マシンシステム (AIRplus® と AIRmove®) のメーカーで長年のパートナーである Ideepak B.V. (オランダ) がStoropackグループに参加。
- 2021年 AIRplus®のリサイクル製品群を拡大。100%リサイクル素材でできたバブルフィルムとクッションフィルムを開発しました。
- 2021年 ストロパックが協力企業であるOPITZ社の株式の過半数を取得。
- 2022年 PAPERbubble®を、STOROpackが、従来のエアクッションフィルムの代替品となる革新的な紙製エアクッションとして市場に送り出しました。同年、サステナブルな製品である、AIRplus® Bio Home CompostableとRENATURE® Thermoも市場導入されました。

2023年 ラインアップに新登場：考え抜かれた包装プロセスのためのWorking Automation Moduleが、ラインアップに加えられました。

2024年 RENATURE®のラインアップが、RENATURE® 3DとRENATURE® Wrapによってより充実しました。

2025年 AIRfiberを、STOROpackが、紙製エア Cushionの製品ラインアップに加えしました。